



NEWS RELEASE

2026.5.11

日清食品ホールディングス

「Dow Jones Best-in-Class World Index」の構成銘柄に6年連続で選定

日清食品ホールディングス株式会社（社長・CEO：安藤 宏基）は、世界的な ESG 投資の指標である「Dow Jones Best-in-Class Indices*¹」において、「World Index」の構成銘柄に6年連続で選定されました。また、「Asia Pacific Index」には、2018年から8年連続で選定されています。

「Dow Jones Best-in-Class Indices」は、米国 S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社が選定する世界的な ESG 投資の指標です。1999年から毎年、世界の主要企業を「ガバナンス・経済」「環境」「社会」の3分野において調査・分析し、持続可能性（Sustainability）に優れた企業を評価しています。

「World Index」は、先進国、新興国双方の主要企業約3,500社を対象とした指標で、2026年は317社（そのうち、食品カテゴリーは全体で6社、日本企業は3社）が構成銘柄に選定されました。弊社は、ガバナンス・経済分野の「マテリアリティ」「企業倫理」、環境分野の「エネルギー」「包材」「廃棄物 / 汚染物質」「水」「気候変動戦略」、社会分野の「労働慣行」「人的資本管理」で高い評価を獲得しています。

なお、弊社は年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が ESG 指数として採用している「FTSE JPX Blossom Japan Index」「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」「MSCI 日本株 ESG セレクト・リーダーズ指数」「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」「Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除く REIT）」の構成銘柄に選定されるとともに、世界的な ESG 投資の指標「FTSE4Good Index Series*²」にも選定されています。

日清食品グループは、これからも持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めていきます。

*1 2025年2月に「Dow Jones Sustainability Indices (DJSI)」から名称変更。

*2 ロンドン証券取引所グループの子会社である FTSE Russell 社が設計する投資指標。